

5. 公開講座

公開講座企画の立案と運営は、2004年度から高等研センターの業務となっている。

今年度は、地方と国際社会とのダイレクトなつながりをテーマに、「東アジアのなかの北海道」と題し、公開講座をおこなった。

地方が東京を経由せずに、直接、国際社会とつながる時代が到来し、国際社会とのヒトやモノのダイレクトな太い流通網をどれだけ築けるかは、地域の発展のかぎを握る要素ともなっている。北海道にとって目下、とりわけ重要な意味をもつパートナーは中国、台湾、韓国など東アジアの諸地域。実際にこれらの国では、近年、たいへんな北海道ブームが起きており、多くの観光客が押し寄せ、札幌をはじめ各地の観光地で中国語やハンゲルの看板や標識が目立ち始めている。

この講座では、東アジアとかかわりの深い4名の研究者・実務家に東アジアから北海道がどう見えているかを語っていただき、東アジアの人々が北海道にどんな視線を送っているかという角度から北海道の国際化戦略を展望した。

参加者は一般市民や学生など60名（全4回、延べ人数では212名）で、熱心に受講がなされた。ご協力をいただいた講師、事務職員の方々、ならびにご挨拶をいただいた松久三四彦法学研究科長にお礼申し上げたい。

日 程	講 義 題 目	講 師
第1回 7月 26日 (木)	北海道の国際化と東アジア	北海道大学大学院 法学研究科附属高等法政教育研究センター 教授 鈴木 賢
第2回 8月 2日 (木)	中国から見た北海道	北海道大学 メディア・コミュニケーション研究院 教授 野澤 俊敬
第3回 8月 9日 (木)	台湾から見た北海道	台北駐日経済文化代表処 札幌分処 処長 徐 瑞湖
第4回 8月 23日 (木)	『Love Letter』から 「Love Rain」まで —韓国のメディア・ポピュラ ー文化における「北海道のイ メージ」の変容過程—	北海道大学 メディア・コミュニケーション研究院 東アジアメディア研究センター 准教授 金 成玫

(詳細は下記参照)

<http://www.juris.hokudai.ac.jp/ad/event/h24koukaikouza/>